

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：森林整備費

事業名【新】再造林加速化促進事業費補助金（譲与税分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林経営課 整備係 電話番号：058-272-1111 (内4385)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,375 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,375	0	0	0	0	0	2,375	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

県内の再造林率は低調であり、このままでは森林の有する多面的機能の持続的な発揮に影響を及ぼすおそれがある。

主伐・再造林を促進するため、多くの森林所有者が懸念する造林費用や造林後の保育費用について、再造林加速化促進事業費補助金等にて補助しているところであるが、一部の地域では、造林事業者が確保できず再造林が十分進んでいない。

そのような地域では、皆伐専門の林業事業者が皆伐し、その後、採算が合わないおそれがある等の理由から造林事業者が積極的に再造林に取り組める状況になく、市町村の指導だけでは両者の連携が十分図られていない。

(2) 事業内容

皆伐事業者と再造林事業者や市町村等、地域の関係者が連携し、主伐・再造林を推進していくため、地域の関係者で経費を負担し、皆伐事業者と再造林事業者が連携し取り組む低コスト再造林の支援を進めていくための再造林基金制度への支援を実施

- ・再造林支援：基金制度初期の再造林基金支援に要する経費への支援
- ・再造林基金円滑化支援：基金事業にかかる事務費への支援

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 再造林支援：補助率 基金支援額の1/2以内の額、上限額25千円/ha、2,000千円/年/団体)
- ・ 再造林基金円滑化支援：補助率 県1/2以内

(4) 類似事業の有無

再造林加速化促進事業費補助金（主伐・再造林推進に係る取組みの促進）：協定締結や計画書策定に係る取組みに対する支援

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,375	再造林支援：2,000千円＝25千円/ha×80ha 再造林基金円滑化支援：375千円＝375千円×1団体
その他		
合計	2,375	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

(1) 災害に強い循環型の森林づくり

(イ) 100年先を見据えた森林づくりの方向性と仕組みづくり

(2) 国・他県の状況

高知県 R5年度から森林資源再生支援事業費補助金（再造林等促進支援、再造林基金円滑化支援）を実施

(3) 後年度の財政負担

- ・ R8年度まで実施予定

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・ 事業主体：再造林基金団体
- ・ 妥当性：再造林率向上につながる再造林基金の取組みを促進するため、基金団体の初期の取組みを支援するものであり妥当

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	再造林加速化促進事業費補助金（譲与税分）
補助事業者（団体）	・再造林基金団体 （理由）・再造林基金管理する団体であるため。
補助事業の概要	（目的）再造林を促進するため、地域での再造林基金制度の初期の取組みを支援 （内容）・再造林支援に要する経費への支援 ・基金事業にかかる事務費への支援
補助率・補助単価等	定額・定率 （内容） ・再造林支援：基金支援額の1/2以内の額、上限額25千円/ha 2,000千円/年/団体） ・再造林基金円滑化支援：1/2以内 （理由）・再造林基金制度による再造林を促進するため ・再造林基金制度の初期の取組みを円滑化するため
補助効果	再造林の促進
終期の設定	終期：令和8年度 （理由） 第4期岐阜県森林づくり基本計画期間内で取組む

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 岐阜県内で、令和5年度以降、新たに再造林基金制度が2地域で創設される。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R5)	R4年度実績	R5年度目標	R6年度目標	終期目標 (R8)	達成率
	① 県内の再造林基金制度数	1			2	
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・無
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・無
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・無
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	国が令和5年5月30日に花粉症対策の全体像を示す等、主伐・再造林がさらに増加する見込みであり、本事業の必要性は増加している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 再造林基金制度が創設されるよう、森林組合や林業事業体等に対し、市町村と共に働きかけが必要。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 再造林率向上のため、着実に事業を実施していく。
--